

いろいろな問題点を吸いあげて、いくために、移動町民室を開くことになりました。去る四月二十六日おこなわれた町内会長、町政協力員合同会議のときに詳しい資料を提示しておりましたので、希望する町内部落会であります。お早目に申込みください。

申込み先は、役場秘書課となつております。

広報

ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876)2430番 一部 5円
郵便番号 018-117 毎月1日・15日発行

重んずる極旨で、国民の祝日として定められている。子供は生れ落ちると約束された大人への道を休むことなく歩み続ける。その子供たちが幸せな生活が出来るように、それぞれの立場で後継の運営しようおとなちは努力している。

この頃の国会からしかし、この頃そのおとなたちの仕草が、子供たちにいさか恥かしい。子供たちに係る言葉でのぞいてみたい。

◎子供はされた鬼子母神のよう。これは大切なものを失つておろおろうたえさわぐのだよ。

子供の日におとなを考えてみたい

外國の一商社から日本政府が、そこで下をもたらしたとか戦後三十年余曲折の中でもうやく育てあげた民主主義の本質が見失われようとして、国会の空転は続ぎ、国民はうろたえおたおたしている。

◎子供よりし子供からおとなになつたばかりのことを指す。日本の民主主義はまだ子供がありでしかないのかも知れない。

ロキード事件を追つて国会議員は我先にアメリカに渡つたが、要領の得ない談話を国民の前に披露しただけ。子供扱いにされた怒りよりも、子供らしいせつからちな日本の国民性が気に

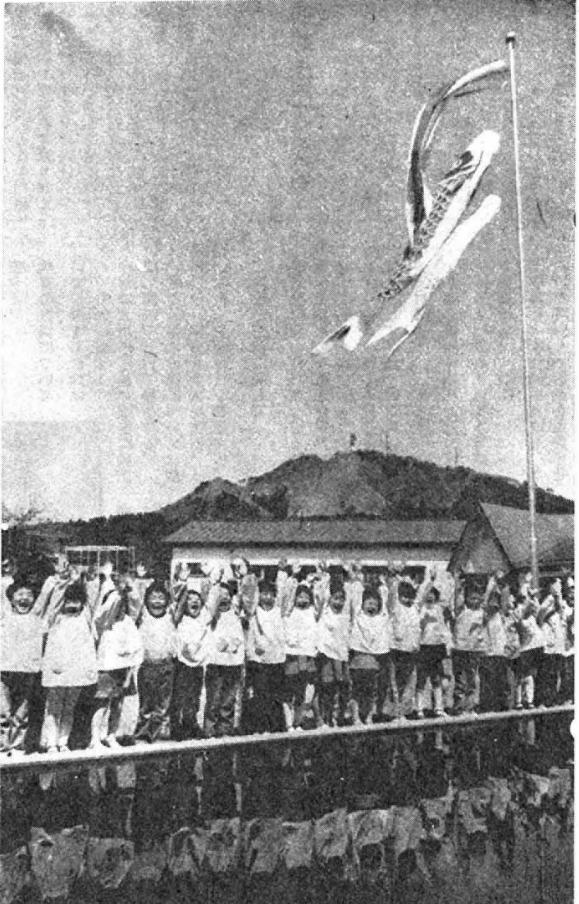
かかる。
◎子の根間(ねどい)
子供が根掘り葉掘り、疑問を発すること。
国会に証人を呼んで尋問した。根掘り、葉掘り聽いたが「氣憶にございません」、「忘れました」と言う流行語を生んだだけ。
け。子供会であるまいしおとなとの権威を見せて欲しかった。
不幸な子供に救いの手。
子供の日になんでもおとなを考えるのも変だが、そらとも言えない。いま税金の無駄使いをやめよう。節約しながら効率的な使い方をしようというのだが、それなのに、国会はどうだろう、一日開会すると何をしなくとも三千万円かかる。百日空転するに金の無駄使いである。ヒ素ミルク、サリドマイド、未熟児網膜症などの各事件は、いずれも幼子がその犠牲になつてゐる。高額医療費に泣く家族も多からう。三千億円は不幸な子供たちを救い出す予算に変化させて欲しいものだ。子供たちの将来は一におとなちの姿勢にかかっている。それは必ず政治を司るみなさんが誰もが納得する強力なリーダーシップを揮し、一企業のために一億一千万人がゆざぶられるような政治は、このへんでごめんこうむりたい。

この町の登記所は、明治二十三年十二月二十日秋田区裁判所の出張所として開設され、以来八十五年の歴史を誇るのが、現在の秋田地方法務局五城目出張所です。私は、昨年の三月に象潟から縁と市のある町、五城目へ赴任してきました。さて、今後も速達登記関係事務の迅速な処理を期する為に、町民の皆さんのご協力を得たく、登記所の内容をかいづまんと説明します。

まず、当時の事務区域は、五城目町と八郎潟町の全域で、土地七万四千筆、建物五万三千筆外会社法人等が登記されています。およそその事務の種類は、相続、売買、抵当権、地目の変更、建物の新築増築、また会社法人等の設立、役員の変更、それから登記簿の閲覧・謄抄本の申請です。取引の安全を期する為の当然の事でしそうが明確です。

まず、当時の事務区域は、五城目町と八郎潟町の全域で、土地七万四千筆、建物五万三千筆外会社法人等が登記されています。およそその事務の種類は、相続、売買、抵当権、地目の変更、建物の新築増築、また会社法人等の設立、役員の変更、それから登記簿の閲覧・謄抄本の申請です。取引の安全を期する為の当然の事でしそうが明確です。

まず、当時の事務区域は、五城目町と八郎潟町の全域で、土地七万四千筆、建物五万三千筆外会社法人等が登記されています。およそその事務の種類は、相続、売買、抵当権、地目の変更、建物の新築増築、また会社法人等の設立、役員の変更、それから登記簿の閲覧・謄抄本の申請です。取引の安全を期する為の当然の事でしそうが明確です。



天衣無縫この子らに幸せを～五城目幼稚園で～

秋田法務局五城目出張所
所長 菊地伸夫
年々増加する登記事務



福祉の充実など

五つの目標をかかげ



前町長
小林源四郎氏

去る四月二十六日、町民セントラルで昭和五十一年度町内部落会長と並びに町政協力員の合同会議が開かれました。初めてに加賀谷町長は本年度五つ目の目標をかかげて町政を推進する所を述べ、つぎに各町内部落長から述べて、つぎに各町内部落長から希望が出されました。

本年度町の重点事業は節約に徹し、自分で赤字解消を図りながら次の事をとりあげていく。

一、都市計画事業と農村総合モデ

ル事業による都市部と農村部の均衡を図る。

二、教育の振興

三、福社の充実

四、中小企業の不況対策

五、農林業の振興

以上五本の柱を町政の中心に強力に推し進める。

その概要を述べると、

都市計画事業について

本年度は、如来寺寺とその施設を

・昭辰町下水路工事に一千円

・二千万円

・農村総合モデル整備

・事業早期完成をめざす。

・町道整備事業は、恋地、坊井地線、湯ノ又二号線、寺庭四号線など。

・農村公園を八千二百五十九万七百円で実施する。

・教育の振興について

国でも町でも所詮は人づくりに懸念する。

今年は大川小学校の改築に総工費約2億五千円で着手する。

・福祉の充実について

老人医療費の負担増を図る低所得帯で重度の身障者が風呂場ト

イレを改築する場合に助成する。

寝たきり老人、脳卒中後遺症患者へのリハビリ施設、姫産婦と乳幼児に対する栄養食品の支給を行う。

・上水道・高台の水路を高くする

・下水道・秋田湾流域下水道事業を促進する。

・環境美化も奉仕団を育成し、

馬川学校との合併をめぐり、地深く哀悼の意を表します。

前町長小林源四郎氏は、四月二十六日午後二時八分に、入院先の秋田県脳血管研究センターで、脳梗塞で昏迷した苦境を乗り越え硬ソックのため二十七日の誕生日をあさひ台に輝く今日の五城目小学校前にして亡くなられた。当年七十歳。葬儀は三十日天昌寺において、五城・五城幼稚園・児童館など息子小林氏は、昭和六年に富津内村役場書記として入り、以来同十二年の生活を楽しんでいたが、昭和四

年には収入役・助役などの要職を十六年に町では自治の道一筋に町長を務めた。五ヵ月町合併後も昭町功労者とし表彰している。本格化した町づくりが始動している。さ中で活躍、昭和四十年から四十四年もつと長生きしてこの町の発展をまでは五城目町長としてその歴史をみつめて欲しかった。天命のおもをふるっている。町長在職当時、むくところの親の献身的な看護も現在の五城目小学校を建設したが及ばず、幽明を境にしてしまった

地を深く哀悼の意を表します。

五十五年度町内部落会長と

農林業の振興について

・地力増強を図り堆肥づくりコン

・土木工事

・第一次圃場整備事業に脇村、平

答: 大潟村へ入植された人の所有

地を調整しながら解決したい。

質: 西野郷と同部落の間に車の寄り場を持つてはどうか。

質: 代替地の見通しについて。

・昭辰町下水路工事に一千円

・二千万円

・農村総合モデル整備

・事業早期完成をめざす。

・町道整備事業は、恋地、坊井地線、湯ノ又二号線、寺庭四号線など。

・農村公園を八千二百五十九万七百円で実施する。

・教育の振興について

国でも町でも所詮は人づくりに懸念する。

今年は大川小学校の改築に総工費約2億五千円で着手する。

・福祉の充実について

老人医療費の負担増を図る低所得帯で重度の身障者が風呂場ト

イレを改築する場合に助成する。

寝たきり老人、脳卒中後遺症患者へのリハビリ施設、姫産婦と乳幼児に対する栄養食品の支給を行う。

・上水道・高台の水路を高くする

・下水道・秋田湾流域下水道事業を実施する。

・環境美化も奉仕団を育成し、

馬川学校との合併をめぐり、地深く哀悼の意を表します。

三頁選舉特報の記事の中で、告示と投票日月数が入れ替わってお

移転する。
事業費は一億二千万円
・磯ノ目地区画整理事業一六千六百万円で区画街路延長一・八五〇メートルの築造及び家屋移転を図る。

・雀躍運動公園の整備一千六百八十一万

・町営住宅の建設は総工費二千八百八〇円で簡易耐火構造二階建第二種住宅を二棟(一戸主分)で設置する。

・近い老人医療費の無料化や高額医療制度の実施に伴い国保財政が困難な状況にある。今後国庫補助の増額により厳しく対処する。

以上、町政推進の方針を説明したあと、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。

・以上、町内会長・町政協力員から町に対する要望が出され、活発な話し合いをした。



町政推進について説明する加賀谷町長

る。

・中小企業対策は融資枠を拡げる

・地場産業である木材産業や織維

機械産業などコストの採算割れを

で着工する。

・交通安全対策としてガードレ

ル三六〇メートル・カーブミラー

・福社バスを利用させてはどうか

・二種住宅を二棟(一戸主分)で設置する。

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・内郵便局の配達区域を五

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・内郵便局の配達区域を五

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

・希望ヶ丘の郵便配達で、五城

選舉特報

内川第二投票区 内川児童館 戯戯場
内川第三投票区 小倉公会堂
大川第一投票区 大川出張所会議室
大川第二投票区 西野公民館
大川第三投票区 谷地中公民館
面潟投票区 森山公民館

○有権者の資格等について

去る四月
十七日長野
の戸倉町か

老人いこいの場旅館と契約

長野県豆倉町立心相宿

広域体育館・町民センターを賛嘆

～兩町の情報熱心に交換～

運動公園事務局長、石井議会事務局長等がこれにあたり活発な意見交換が行われた。はじめ戸倉町から用意された質問の順序に従い教育、農林業、議会、総務、建設関係などの実情を説明した。

本町を訪れた事由は、行政全般にわたる视察ということであったが、戸倉町も町立体育館の建設を予定しているため、広域体育館の建設経過や管理運営に熱心のある質問が集中した。

二時間にわたる両町の情報交換が終つてから、町民センター、広域体育館を観たが、秋田杉をはじめ内産の木材をあますところなく利用しているところが高評価されていた。

なお竹内町長は、あまり立派な施設をみせてしまつたため、戸倉町立体育館設計画の変更を、議員から要請されるのではないかと心配していた。

対してすることは禁止された。

内にある者に対する提供すること

町の政治も自分たちが支えている
投票する気などなく、投票な一票を
投じてほし。
●告示ならびに投票、門票は次の
とおりです。
・告示日　四月三十日
・投票日　五月二十三日
(午前七時から午後六時まで)
五城目第五投票区
五城目町公民館馬川分館会議室
五城目第六投票区
馬場目第一投票区　上通り公民館
馬場目第二投票区　町村会館
馬場目第三投票区　中村公民館
馬場目第四投票区　恋地公民館
馬場目第五投票区　杉沢公民館
富津内第一投票区　金沢喜市宅
秋田市広縫維株式会社会議室
町の投票は、選舉期日の告示
日(四月三十日)から投票日の前
日(五月二十二日)までの間にお
いて行なわれます。
なお、不在者投票用紙等の請求
は、告示日の前にでも出来ます。
但し郵便による不在者投票の請求
は投票日前四日(五月十九日)まで

公職選挙法関係質疑
問：候補者等が行事に招かれたときその会費を払うことはよしもと
また包み金を置くことはどうか
(注、親族の場合は除く)

対してすることは禁止された。
問：候補者等が結婚式に招かれて
金品を出すことは寄附になる
会費制の場合にその会費をなる
うことはどうか。実費に見合

内にある者に對して提供すること
とは禁止される。ただ、会費制度の
ない場合であつて、相手方に
料金代等のみに、提供された
金を支払うことでも禁止する。

●告示ならびに投票、門票は次のとおりです。
　・開票日　五月二十三日
　・告示日　四月三十日
　・投票日　五月二十三日
　(午前七時から午後六時まで)
　(午後七時三十分から)
　ただし、閉じる時刻を繰上げる
　投票所は次のとおりです。
　馬場目第一投票区　馬場目第二投票区
　馬場目第三投票区　馬場目第四投票区
　富津内第一投票区　秋田末広醸業株式会社会議室
　富津内第二投票区　富津内地区
　コムニティセンター集会所
　富津内第三投票区

公職選挙法関係質疑

対してすることは禁止された。

内にある者に対して提供することと
は禁止される。ただ、会費賄費等の
他の場合であっても、相手方との
了解のものに、提供された
料理代等に見合う実費程度の金
銭を支払うことまでも禁止する
ものとは考えられない。

(午後七時三十分から)
富津内第一投票区 富津内地区
富津内第三投票区 ロミニテーランタ集会所
富津内中学校理科教室 選管委員会に問合せください。
内川第一投票区 その明白な点がありましたが
北々口公民館 (電話五城目局二二〇〇番) 選
馬場目第三投票所 管直通臨時電話五城目局四三〇三
▼繰り上げる投票所及び時間 ください。

収方法等からみて会費と認められる場合には、お見込のとおりまた包み金を置くことは一般的には、債務の履行としてなさざるものとは認められないので実附となり、選挙区内にある者に

程度の金品を出すことはどう、

ものとは考えられない。

財団法人五城目町開発公社

総合開発計画を支える役目

◆五城目町開発公社がなぜ設立されたのか

鉄序ある町づくりの整備に果す役割

この町で総合開発計画をたてたのは、昭和四十五年一月であった

この内容は、基本構想、基本計画実施計画の三編八章から成り立つ

これは、昭和四十五年一月であった

この計画を実施するためには、

公有地の拡大を計画的にすゝめな

がら、整備をはかることが

が基本であり、健康にしてること

が地域づくりをするためには、開

発公社の設立がどうしても必要欠

くことのできない条件であった。

しかし、その頃、わが国の経済

成長は過然ぎみ、とどまるこ

との知らない上界線は、土地投機を

盛んにし、地価の高騰をもねいた

こうした地価の高騰は、住宅用地

公共用地、工場用地などの取得難

を招き、特に町部周辺においては

計画性に乏しい無秩序な市街化も

あらわれはじめて、その対策は急

をせまられていた。

総合開発計画実施の支えに

地方公共団体が、住みよい地域

づくり、街づくりを進めるにあた

つて当面する最大の問題は、この

地価の高騰、土地利用の混乱によ

る公共用地の取得難である。それ

に地方公共団体が直接土地の先行

取得する場合は、地方債の資金量

ずしも計画的に土地の需要に対処しえないのでいうくらいがある。こ

のため、町では公共施設の整備を促進し、地域開発計画を実施する

ために、開発公社を設立してこれに對処しているところである。

◆開発公社は公共用地の先行取得にどのような役割を果すのか

運用面からの制約が加わるなど必ずしも計画的に土地の需要に対処しえないのでいうくらいがある。こ

のため、町では公共施設の整備を促進し、地域開発計画を実施する

ために、開発公社を設立してこれに對処しているところである。

◆開発公社は公共用地の先行取得にどのような役割を果すのか

この計画を実施するためには、

公有地の拡大を計画的にすゝめな

がら、整備をはかることが

が基本であり、健康にしてること

が地域づくりをするためには、開

発公社の設立がどうしても必要欠

くことのできない条件であった。

しかし、その頃、わが国の経済

成長は過然ぎみ、とどまるこ

との知らない上界線は、土地投機を

盛んにし、地価の高騰をもねいた

こうした地価の高騰は、住宅用地

公共用地、工場用地などの取得難

を招き、特に町部周辺においては

計画性に乏しい無秩序な市街化も

あらわれはじめて、その対策は急

をせまられていた。

こうした公社の活動は、公共用

地の先行取得するため重要な役割

を果すかたわら、次のような特徴

をもっている。

②公共用地先行取得額等では十分

由に資金借入れができることと、

民間の金融機関から自

由に資金借入れができることと、

①公社は、民間の金融機関から自

由に資金借入れができることと、

地盤の高騰、土地利用の混乱によ

る公共用地の取得難である。それ

に地方公共団体が直接土地の先行

取得する場合は、地方債の資金量

行取得が可能であること。

事業予定地の周辺の土地も取得

することができるので、周辺の

地域整備、開発利益の吸収がし

やすいこと。

④用途未確定の土地についても、

将来の事業のために確保してお

ることができる、事業実行に伴う

値上がり前に取得することが可能

であること。

⑤土地取得の手続が機動的、彈力

的に行ない得ること。

そして昭和四十七年には、「公

有地の拡大の推進に関する法律」

が第六十五回国会において成立し

地方公共団体の必要とする土地、

すなわち、公有地の確保、拡大を

積極的にすゝめるため、新たな施

策が加わることとなつた。

合計 一千三百八十万一千五百円(七)

◆宅地分譲 宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 四百六十万円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 三百四十四万四千円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 四百六十万円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 三百四十四万四千円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 一千三百八十万一千五百円(七)

◆学校用地 磯の目区画整理田地 一百二十六千五百五十円(三)

◆宅地分譲 宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 三百五十六万四百円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 八百九十一万四千五百五十円(八)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 五百百七十一万三千百六十二円(五)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 一千二百四十四万円(一)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 一千五百五十五万三千円(一)

◆公共用地 保全林用地 二・七五五㎡

◆学校用地 下川原用地(中島) 一・〇九二・五七㎡

◆宅地分譲 宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 九百二十万一千五百円(六)

宅地造成用地 三・六四四㎡

学校用地 一・三一―㎡

計 一千五百八十三万七千(七)

◆公共用地 保全林用地 二・七五五㎡

▽取得面積及び金額
()内は取扱件数

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

◆公共用地 六百六十一万円(九)

◆公共用地 六百六十一万円(九)

◆公共用地 六百六十一万円(九)

◆公共用地 六百六十一万円(九)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

◆公共用地 一千五百八十八万一千一百円(二)

昭和四十八年

昭和四十七年

昭和四十六年

昭和四十五年

昭和四十年

◆公共用地 一千五百五十九万円(一)

学校用地 三、二三四・五〇m²
五百八万二千八百円(三)

町道道路用地 一四m²
九万五千五十四円(三)

国道歩道橋用地 七九m²
八十九万一千四百円(三)

河川地 六六三m²
十五万五千八百五円(一)

下川原用地(中島) 五、二三四・七m²
四百七十一万八千二百七円(十)

兒童公園用地 三三九m²
六十二万二千四百六十八円(一)

広域林道用地 五、二〇六 三六m²
四、二〇六 三六m²

上水道水源地用地 合計 七八、〇四〇・八六m²
三百六十七万五百三十八円

・宅地分譲 計 五千七百八十二万 千
三百七十九万七千七百三十二円

(一六) 合計 一〇、九七六m²
一千八百十一万四百円

・宅地造成用地 一〇、九七六m²
一千八百十一万一千

・計 一〇、九七六m²
一千八百十一万四百円

・憩いの森用地 五百九十二円
五百九十二円

・保全林用地 二千八百八十二万八千円
二千八百八十二万八千五百六十円(五五)

合計 五百六十円(五五)
二千八百八十二万八千五百六十円(五五)

・道路用地 四、〇三六・八九m²
二千八百八十二万八千円

・水源用地 三、〇〇二・六五m²
五百六十円(五五)

・運動公園用地 二千八百八十二万八千五百六十円(五五)
二千八百八十二万八千五百六十円(五五)

・保全林用地 一、八八一・九五m²
七十六万三百七円

・広域林道用地 一、八八一・九五m²
七十六万三百七円

・水源地用地 一、八八一・九五m²
七十六万三百七円

・公共用地 一、八八一・九五m²
七十六万三百七円

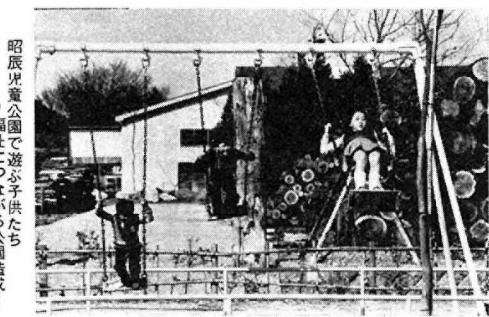
・町単いこいの森用地 一、八八一・九五m²
七十六万三百七円

・好評を受けた下り口住宅分譲地 四千八十八円(十)



昭和四十九年

◆ 公共用地



昭辰児童公園で遊ぶ子供たち
福祉につながる公園造成

◆ 公社の運営機構について

町施設推進の基盤をなす公社の運営については、その重要性からして理事側から五名が選任され、この中で審議決定し、目的達成に前進を続いている。議会側から六名、町当局の寄付行為をもつて公益財団法人組織としてその運営にあたっている。

年度別・用途別取得用地面積と取得金額一覧

用途区分	区 分	年		昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	計
		面積	金額							
公共用地	面積	7,919・78m ²	486,238・35円	9,201,500円	35,837,654円	51,713,162円	39,711,192円	28,828,560円	22,925,437円	188,217,505円
	金額	—	—							
高校用地	面積	—	1,311・00m ²	—	—	—	—	—	—	51,311・00m ²
	金額	—	3,444,000円							
宅地分譲用地	面積	3,644・00m ²	7,210・40m ²	4,600,000円	15,553,000円	1,090,300円	18,110,400円	—	14,400,000円	53,753,700円
	金額	—	—							
工場用地	面積	—	—	—	—	—	—	—	—	32,799・00m ²
	金額	—	—							
其の他	面積	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金額	—	—							
計	面積	11,563・78m ²	494,759・75m ²	13,801,500円	54,834,654円	91,243,462円	57,821,592円	28,828,560円	37,325,437円	283,854,205円
	金額	—	—							

昭和五十年度

五城目町文学祭受賞作を発表

俳句、短歌、川柳の三部門

去る四月十六日町民センターで

意欲の点では前者に勝るもののが
感じられる。発想も大へんユニークである。

部門にわたって受賞作品が発表さ
れた。

今回の応募作品は四十六篇を数
え「県内外でもユニークな『地域文
学』として注目されている」

作品の多くは、町民の日常生活
をうたいあげたもので、そこには
土著性に富む人間の感性的なもの
があり、明日への生活の源となる
生きる灯を与えてくれる。
つぎに各部門の作家賞、秀逸、
佳作作品を見て見よう。

俳句部門（金 三路氏評）

【作家賞】

「蓑原の風」 工藤ミネ子

蓑原の風擦り乾く暮の秋
観音像の頬みな丸く春めけり
(評) 作者のたたずまいの深さが
読みとれる

【秀逸】

「出稼の村」 三浦 緑葉

花終りし萩刈り居れば客ありぬ
(評) 安定感から言つてこの作が
一番確かなものがあった。表現
においても無理がなく作家の像
が現みとれる。

〔秀逸〕 「流れ星」 猿田 天鳴
便ひらく鉄つめたし雲の雨
・顔かくす日焼の児等のはかりご
と (評) 個々に粗さも見られるが、

〔佳作〕 「向日葵」 大島つむぎ
・春の陽や緑に老婆の身じらかす
・本心をうつす鏡台ふせたままで
(評) 手堅さを見る事ができる

熱心に講評を受ける参会者



【佳作】

「春 雜 詠」 佐藤 弘

揚雲雀点じて広き平拓地
・春雲や朝焼き喰え子の帰る
(評) この句は好作で、とくに鶯
焼きの歌を巧みに取り入れたこ
とが手柄である。

【佳作】

「病む母」 佐藤 貞

無意識に母の寝息をたしかめる
生きている証し病母の爪が伸び
・氣の立つ厨にきざむ葉に沈め
背信の今日は鉢の葉行く
(評) 平穎な素材のあるが、それ
だけに類型化におちり易い、
ここまで盛り上げた手

法は、すぐれている。

〔佳作〕 「母の鉢」 草皆 チエ

子の部屋で少し吹きた
・合格を祈つてやまぬ母
の鉢 演出が美事淋しい日で
(評) 受験期の子を持つ
母の心情をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

〔秀逸〕 「母の鉢」 草皆 チエ

い母の笛 演出が美事淋しい日で
・合格を祈つてやまぬ母
の鉢 演出が美事淋しい日で
(評) 受験期の子を持つ
母の心情をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

〔佳作〕 「母の鉢」 草皆 チエ

子の部屋で少し吹きた
・合格を祈つてやまぬ母
の鉢 演出が美事淋しい日で
(評) 受験期の子を持つ
母の心情をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

〔佳作〕 「母の鉢」 草皆 チエ

子の部屋で少し吹きた
・合格を祈つてやまぬ母
の鉢 演出が美事淋しい日で
(評) 受験期の子を持つ
母の心情をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

【作家賞】

「病む母」 佐藤 貞

嫁の座の悲しさ月に問えかける
・信念を通して金持ちにもなれず
(評) センスが良いが、金句を通
して雑が目につく。

【佳作】

「影」 八木下みきゑ

嫁の座の悲しさ月に問えかける
・信念を通して金持ちにもなれず
(評) センスが良いが、金句を通
して雑が目につく。

【佳作】

「春を待つ」 福島 ミツ

・たわむれに傷つく愛のひとかけ
燃えている握手言葉など要らぬ
(評) 句と句が対照的である。後
の句の方がより川柳を感ずる。

〔佳作〕 「短歌部門（一 関吉美氏評）

・春を待つ 福島 ミツ

・肝端よりはるかに高く空覆ふひ
陽を集めゆる椿の熟れゆく
実をもぎて寒けく見ゆる椿の木
に今朝日し薄日さしつ

〔佳作〕 「母の鉢」 草皆 チエ

・母の心をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

【作家賞】

「母の鉢」 草皆 チエ

・母の心をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

〔佳作〕 「母の鉢」 草皆 チエ

・母の心をよく捉えて、川柳のもつ明暗
のバランスが生かされている。

【佳作】

「野の花によせて」 石井 歌

・いとけなき幼なは過ぎぬうつ蝶
の母は音なきつりがね草振る
(評) 可憐な野の花によせて、自
らの人生の哀愁を歌っているが
もう一步つこんでほしい。

五城目町の石仏 (2)

小川 元生

木立の中にあり、湿気をふくみ終
日陽の当らない場所のようだが、
それでも頬面、納衣、錫杖共にく
つきと浮き立つてゐる。端正で
典型的な顔と言えそうだ。
命地蔵である。製作年代はまだ新
しいようだが、なめらかな石肌に
間にマッチして、表情と静寂が人
の心を和らげる。仮けと自然の融
合が感じられる。

石仏と接触してみると、どうしてこうも土
や草むらが石仏と密
接つながりをもつてゐるのかと思ふ。見る
ものの主觀かもしれない
が、すべてが土に返
らなければならぬ人
間の宿命を考えると
セメントで固められた
中の石仏より、併せみ
の安堵感さえ感じられ
てくるのは私ばかりで
はあるまい。



(山内地区)

